

大名美恵子です

東海村村松 2401-2 電話・fax 284-0761
携帯電話 090-3961-8578
E-mail toukai@oona-mieko.info



東海村議会 議場

25年3月議会から

ライブ配信が開始されます

東海村議会は25年3月議会から議会の状況をライブ配信することになりました。

議場で傍聴していただくことと併せ、ご自宅等で生中継をご視聴いただくことができますようになります。

12月議会 一般質問の日程が決まりました(敬称 略)

12月10日(火)	川崎克彦、笹嶋士郎、三上 修、大内則夫、阿部功志
12月11日(水)	越智辰哉、植木伸寿、宮本翔太、村上志保、 大名美恵子
12月12日(木)	岡崎 悟、松江秀明



●その他の議会日程は●

- 12/13(金)9時～
予算決算委員会
- 12/16(月)10時～
予算決算委員会
- 12/18(水)9時～
議会運営委員会
- 12/19(木)10時～
追加議案上程
議案審議

◆大名が予定した一般質問の項目です◆

- ① 国民健康保険事業運営の状況について
- ② 障がい者の運動・スポーツへの参加促進について
- ③ 東海第二発電所の工事における労災認定の発生状況について
- ④ 5歳児健診実施に対する考え方について
- ⑤ 小・中学校の女子トイレに生理用品を常備することについて

2021年度に女子トイレに設置された生理用品(中丸小)。現在は従来通りの保健室配備になっている。



●議員提出議案(発議)・陳情●

発議:医療用薬品の安定供給の実現を求める意見書について

提出者●越智辰哉議員 賛成者●寺門定範議員、三上修議員

*文教厚生員会に付託されました(議会開会日2日に委員会が開かれます)。

陳情:臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情

陳情者●一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山治章(東京都 …)

*議席配布となりました。

県の「水道の広域化」



村は「当面、単独経営を続けていく」

大名はこの間、村に対し、県が進める水道事業の「広域化」には参加しないよう求めてきました。水道広域化や経営統合のねらいは、官民連携の名のもとに、水道事業の運営を民間に開放することを見越したものであるためです。料金引き上げや災害時などに早期の復旧対応が困難なことも理由です。

村は、11月20日に開催された議会「建設産業委員会」に、本件に関する村の考え方を示しました。

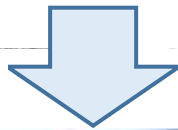
- ① 当面、単独経営を続けていく。
- ② 量水器等の共同発注といった広域連携は継続検討していく。
- ③ 広域化に参加する自治体を含め、他市町村の状況は、引き続き注視していく。

裏側もぜひご覧ください!

<村の資料から>

県が進める広域化（経営の一体化等）への村の考え

東海村	①住民サービス	②財務状況	③事業者	④災害対応
	○	○	○	○
単独経営を続けた場合	<ul style="list-style-type: none"> ●水道料金を低料金で供給することができる。 ●自己水と県水の2系統を維持し、水道水の安定供給を図る。 	今後10年ほどは大きな違いはない。	老朽管更新等の発注を通して地元事業者を育成し、災害時にも協力し合える関係を構築することができる。	早急な普及対応をすることができる
	×	×	×	×
広域化を進めた場合	<ul style="list-style-type: none"> ●水道料金が値上げになる可能性がある。 ●村から水道窓口がなくなる可能性がある。 	今後10年ほどは大きな違いはない（あえて言えば広域化するメリットに乏しい）。	県統一ルールで発注することになるため、地元事業者の受注する機会がなくなる可能性がある。	広範囲に管路等が破断した場合、村は末端のため復旧は一番最後になる。



～村の考え～

- ①当面、単独経営を続けていく
- ②量水器等の共同発注といった広域連携は継続検討していく
- ③広域化に参加する自治体を含め、他市町村の状況は、引き続き注視していく

